



副次効果評価調査

主要目標番号	- 1. (1)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所	評価の説明	評価結果	
主要目標	生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上						
評価対象地区・箇所名	(一) 日野春停車場線(鯉バイパス)						
主要目標項目	- 1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上					
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上					
		(3) 市街地内の交通の円滑化					
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上					
	- 2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上					
		(2) 憩い空間の創出					
		(3) 生活排水処理機能の向上					
		(4) 良好な市街地空間の確保					
		(5) 適正な居住空間の確保					
		(6) 歩行者等の通行空間の確保					
		(7) 道路景観の向上					
	- 3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
		(2) 農業生産力の向上					
		(3) 農業用排水能力の向上					
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)					
(5) 森林整備の効率化							
- 暮らしと経済活動の安全性確保	- 1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保					
		(2) 災害に強い道路の確保			危険度(落石等):要対策、要監視箇所あり(橋梁等):橋梁等耐震・耐荷未補強 損傷度等(落石等):通行止め なし(橋梁等):対策区分 C判定 緊急輸送道路の指定:なし 自動車交通量 3,195台/12h < 3,314台/12h以上(平日)	2	
		(3) 都市災害防止					
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上					
	- 2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
	- 3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減					
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化				
アクセス機能の維持							
主要渋滞ポイントの解消							
生活環境		水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供					
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
		地域の文化・学習等活動の支援					
各種情報の円滑な提供							
自然環境		水源涵養機能の向上					
		生態系空間の再生					
事故・災害防止		防火帯・延焼遮断帯の確保					
		緊急時の避難・救助機能の確保			避難路の確保	1	
		被災時の被害波及の防止					
		既存施設の崩壊危険性の排除					
生産性		走行安全性の確保					
		林業生産力の向上					
		遊休農地の解消					
		新たな公共用地の創出					
その他	農地の保全						
	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
他事業との一体施工							
重要プロジェクトとしての位置づけ							
副次効果 評点合計						3	

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に “ ” が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に “ ” を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。